

国道 号といわき

はじめに

令和2年（2020年）は、いわき市の沿岸部を縦断する路線が、大正9年（1920年）に、現在の「一般国道6号」に通じる「第6号国道」という名称になってから100年の節目に当たります。

この路線は、数度の改称や大規模な改良工事等を経て、長年にわたり、いわき市の大動脈として市民の生活を支えてきました。今回の常設展では、こうした「国道6号」の歩みの一端を、当時の写真や地図等とともに紹介します。

なお、今回の展示にともない、国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所様より、写真等の貴重な資料をご提供いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

国道6号の沿革

いわき市民になじみ深い「一般国道6号」は、東京都中央区日本橋を起点として、茨城県水戸市や北茨城市、福島県いわき市や相馬市等を経由し、宮城県岩沼市で一般国道4号と接続・重複して宮城県仙台市に至る路線です。起点から終点までの総延長は410.9km、そのうち、いわき市域は47.5kmあります。

この路線は、大正9年（1920年）4月、内務省告示第28号により、現在の「一般国道6号」に通じる「**第6号国道**」という名称になりました。それ以前は、明治18年（1885年）2月の内務省告示第6号により、「**第15号国道**」という名称で、その当時の「第6号国道」という名称は、中通りを縦断する、現在の「一般国道4号」にあたる路線を指すものでした。

その後、浜通りを縦断する「第6号国道」は、昭和27年（1952年）12月に「**一級国道6号**」、昭和40年（1965年）3月に「**一般国道6号**」と名称を変えて現在に至ります。

国道6号略年表

年度	西暦	事項
明治18	1885	内務省告示第6号により、第15号国道となる。
大正9	1920	内務省告示第28号により、第6号国道となる。
昭和11	1936	内務省仙台土木出張所福島第二国道改良事務所設置。
		第6号国道(当時)の一次改築開始。
昭和19	1944	内務省仙台土木出張所磐城国道工事事務所へ改称。
昭和20	1945	第二次世界大戦の激化に伴い道路事業は施工中止となった。
		内務省仙台土木出張所磐城国道工事事務所閉鎖。
昭和23	1948	建設省東北地方建設局磐城国道工事事務所設置。
昭和27	1952	一級国道の路線を指定する政令第477号により、一級国道6号となる。
昭和39	1964	一般国道の路線を指定する政令第58号により、一般国道6号となる。

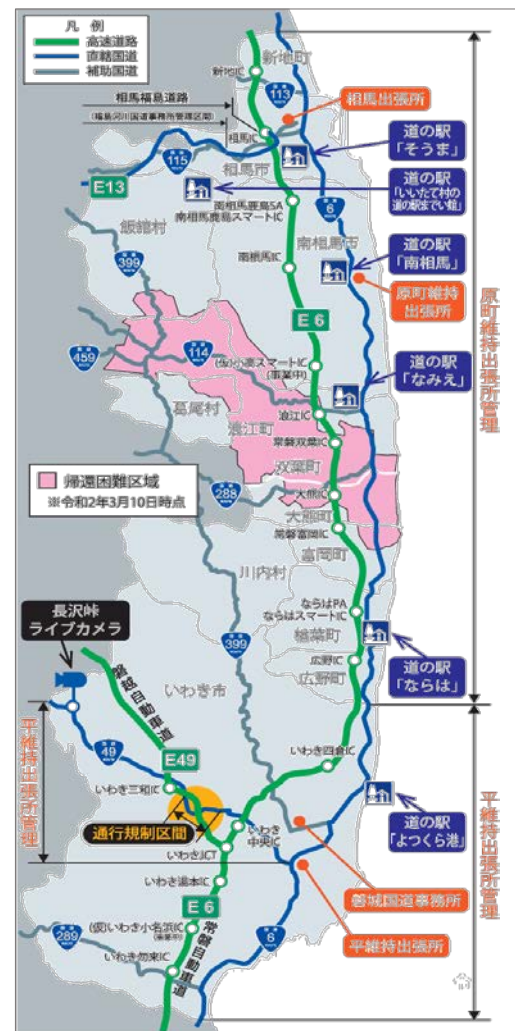
昭和40	1965	二次改築 鎌田バイパス着工。
		一次改築完成。
昭和41	1966	14市町村が合併しいわき市となる。
昭和42	1967	二次改築 鎌田バイパス開通。
昭和44	1969	二次改築 常磐バイパス着工。
平成7	1995	二次改築 久之浜バイパス着工。
平成11	1999	二次改築 常磐バイパス全線開通。
平成12	2000	組織改編により、国土交通省東北地方整備局磐城国道工事事務所となる。
平成15	2003	国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所へ改称。
平成28	2016	二次改築 久之浜バイパス全線開通。

「一般国道6号」の路線は、交通事情や社会情勢の変化にともない、道路の舗装や拡幅といった改良工事が、国の直轄で行われてきました。福島県域については、「内務省仙台土木出張所福島第二国道改良事務所」が、昭和11年（1936年）に設置され、一次改築工事を行いました。

昭和19年（1944年）「同磐城国道工事事務所」に改称されましたが、昭和20年（1945年）、第二次世界大戦の影響により閉鎖となりました。

しかし、昭和23年（1948年）に「建設省東北地方建設局磐城国道工事事務所」が設置され、道路改良工事を所掌することとなりました。

その後、平成13年（2001年）の組織改編により「国土交通省東北地方整備局磐城国道工事事務所」となり、平成15年（2003年）に「国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所」に改称され現在に至ります。



磐城国道事務所管内図

(磐城国道事務所ホームページより)

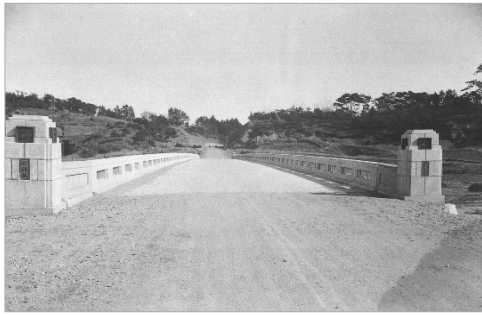
一次改築

第一次世界大戦後の不況の中、関東大震災の震災復興、失業対策、産業の振興等のための事業として、道路の改良や舗装事業が国の直轄で実施されるようになりました。それにともなって、「第6号国道」では、昭和11年（1936年）に平神橋（現いわき市平）の架設工事から一次改築が開始されました。

第二次世界大戦の激化によって、一時施工が中止されますが、その後、日本経済が高度成長期に入り、生産の増大や都市化の進展等によって、自動車の交通量が増加したことで、交通事故も急増しました。このような交通事情に対応するために、一層の道路整備が進められました。

一次改築略年表

年度	西暦	事 項
昭和11	1936	一次改築着工。
		平地内の改良工事施工。
		平神橋（平）架設。
昭和12～ 14	1937～	錦町～植田町間の改良および舗装工事施工。
	1939	鮫川橋（錦町～植田町）架設。
昭和14～ 19	1939～ 1944	内郷小島町～常磐湯本町間の改良工事施工。
昭和20	1945	第二次世界大戦の影響により、内務省仙台土木出張所磐城国道工事事務所閉鎖。
昭和23	1948	一次改築工事再開。
昭和24	1949	植田道路改良工事着工。
昭和26	1951	植田道路改良工事完成。
		泉道路改良工事着工（昭和28年度以降に完成）。
昭和27	1952	磐城国道舗装工事（常磐関船町～内郷御台境町）着工。
		一級国道の路線を指定する政令第477号により1級国道6号線となる。
昭和28	1953	磐城国道舗装工事（常磐関船町～内郷御台境町）完成。
昭和29	1954	磐城国道舗装工事（植田町～泉町黒須野）着工。
		湯本道路改良工事着工。
		勿来道路改良工事着工。
昭和30	1955	磐城国道舗装工事（植田町～泉町黒須野）完成。
		磐城国道舗装工事（錦町～勿来町）着工。
		湯本道路改良工事完成。
昭和31	1956	磐城国道舗装工事（錦町～勿来町）完成。
		磐城国道舗装工事（泉町～常磐関船町）着工・完成。
昭和32	1957	勿来道路改良工事完成。
		磐城（平～四倉）国道改良工事着工。
		磐城国道舗装工事（勿来町）着工・完成。
昭和34	1959	磐城（平～四倉）道路改良工事完成。
		四倉・久之浜舗装工事（平塩～大久町）着工。
昭和35	1960	四倉・久之浜舗装工事（平塩～大久町）完成。
昭和36	1961	磐城国道舗装工事（久之浜町～双葉郡広野町地内）着工。
		末続道路改良工事着工。
昭和37	1962	末続第一トンネル（久之浜町末続）完成。
		末続第二トンネル（久之浜町末続）工事着工。
昭和38	1963	末続道路改良工事着工。
		末続第二トンネル（久之浜町末続）完成。
		磐城国道舗装工事（久之浜町～双葉郡広野町地内）完成。
昭和40	1965	一次改築完成。



いわき市平 平神橋付近
(昭和13年頃、磐城国道事務所提供)



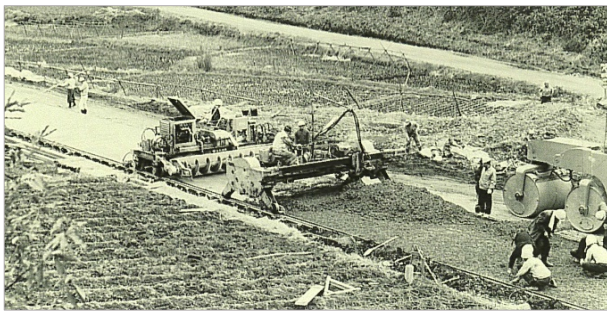
いわき市錦町 鮫川橋付近
(昭和29年頃、磐城国道事務所提供)



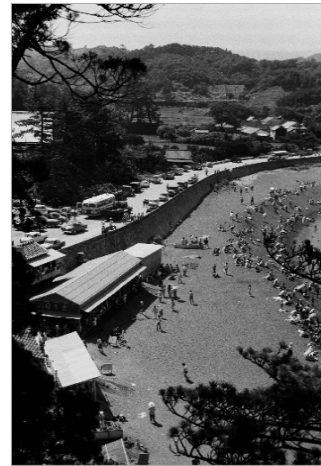
←いわき市平長橋町付近
(昭和29年頃、
磐城国道事務所提供)



いわき市泉町滝尻付近→
(昭和29年頃、
磐城国道事務所提供)



四倉地内の舗装工事
(昭和36年頃、『磐城国道事務所四十年史』より)



波立海水浴場を崖上から俯瞰
(昭和37年7月、いわき市提供)

== 二次改築 鎌田バイパス ==

鎌田バイパスは、戦災復興事業として整備された「都市計画街路」（いわき市平字長橋町～同市平字鎌田町、後の旧一般国道6号、現一般国道399号）に連結し、夏井川を横断、いわき市平鎌田までをつなぐバイパスです。

交通量の増加や車両の重量化に対応するために整備されました。

鎌田バイパス略年表

年度	西暦	事項
昭和40	1965	鎌田道路改良工事着工。
		平大橋（平）工事着工。
昭和41	1966	鎌田道路改良舗装工事着工。
		平大橋（平）完成。
昭和42	1967	鎌田バイパス開通。



←国道6号平大橋建設・
平市街方向を見る
(昭和42年1月、いわき市提供)



国道6号沿いに平鎌田交差点
神谷方向を見る→
(昭和42年5月、いわき市提供)

二次改築 常磐バイパス

常磐バイパスは、いわき市勿来町四沢～同市平下神谷をつなぐバイパスです。平成30年（2018年）4月には、バイパスと並行する区間（旧一般国道6号）が福島県に移管され、「主要地方道小名浜小野線」（いわき市小名浜住吉～同市常磐下船尾町）、「主要地方道いわき上三坂小野線」（いわき市常磐下船尾町～同市平字十五町目）、「一般国道399号」（いわき市平字十五町目～同市平中神谷）となりました。

昭和39年（1964年）のいわき地域の「新産業都市」の指定（「常磐・郡山地区」として指定）が、地域の工業の発展を促進したことにより、旧一般国道6号の交通需要が著しく増加したことや、大型車両が通過する割合が高いことから、常磐バイパスは、その需要に対応するために整備されました。

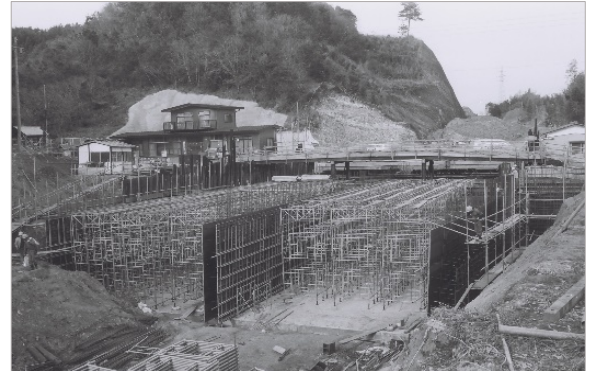
常磐バイパス略年表

年度	西暦	事 項
昭和44	1969	起点・勿来町四沢～佐糠町間、着工。
昭和45	1970	渋川橋（植田町～佐糠町）工事着工・完成。
昭和46	1971	鮫川大橋（錦町～植田町）工事着工。
昭和47	1972	鮫川大橋（錦町～植田町）完成。
		起点・勿来町四沢～佐糠町碓田間、開通。
昭和52	1977	佐糠町碓田～泉町下川間、開通。
昭和53	1978	泉町下川～泉町滝尻間、開通。
		南富岡トンネル（小名浜南富岡）工事着工。
昭和54	1979	泉町滝尻～小名浜南富岡間、開通。
		起点・勿来町四沢に、常磐バイパスの早期開通といわき市の発展を記念し「クロソイドの乙女像」設置。
昭和55	1980	三沢大橋（常磐三沢町）工事着工。
		小名浜南富岡～小名浜住吉間、開通。
昭和56	1981	三沢大橋（常磐三沢町）完成。
		南富岡（小名浜南富岡）トンネル完成。
昭和57	1982	小名浜住吉～常磐三沢町間、開通。
昭和59	1984	獺沢橋（常磐上矢田町）完成。
昭和60	1985	常磐三沢町～自由ヶ丘間、開通。
昭和62	1987	宮ノ下高架橋（泉町下川）工事着工。
昭和63	1988	自由ヶ丘～平下荒川間、開通。
平成元	1989	宮ノ下高架橋（泉町下川）完成。
		六枚内高架橋（泉町滝尻）工事着工。
平成3	1991	六枚内高架橋（泉町滝尻）工事完成。
		菅波大橋（平菅波）完成。
平成7	1995	夏井川橋（平荒田目～平下神谷）完成。

平成8	1996	平荒田目～終点・平下神谷間、開通。
平成11	1999	常磐バイパスが全線開通することを記念し、終点・平下神谷に「未来の風の乙女像」を設置し、植樹祭を行う。
		平下荒川～平荒田目間の開通により、全線開通となり、常磐バイパス開通式を行う。
平成13	2001	住吉交差点立体化工事完成。
平成14	2002	上矢田交差点立体化工事完成。
平成30	2018	常磐バイパスと並行する区間（旧一般国道6号）が福島県に移管され、「主要地方道小名浜小野線」、「主要地方道 いわき上三坂小野線」、「一般国道399号」となる。



国道6号常磐バイパス佐糠町地内の建設を南側から見る
(昭和45年11月、いわき市提供)



国道6号常磐バイパス南富岡トンネル
(昭和55年2月、いわき市提供)



常磐バイパス工事・常磐三沢町付近
(昭和56年12月、いわき市提供)



国道6号常磐バイパス建設の小名浜林城を小名浜住吉に向かって北側から見る
(昭和58年2月、いわき市提供)



国道6号常磐バイパス建設・常磐三沢町を北側から見る
(昭和60年7月、いわき市提供)



平下神谷・国道6号常磐バイパス・全線開通記念モニュメント除幕式
(平成12年3月、いわき市提供)

二次改築 久之浜バイパス

久之浜バイパスは、いわき市四倉町～同市久之浜町金ヶ沢をつなぐバイパスです。平成29年（2017年）4月には、バイパスと並行する区間（旧一般国道6号）が福島県に移管され「一般県道四倉久之浜線」となりました。

久之浜バイパスは、旧一般国道6号（現一般県道四倉久之浜線）の道路の幅員が狭いことや交通量の増加等による、慢性的な交通渋滞の緩和や居住環境の改善のために整備されました。

波立海水浴場の脇を通る旧国道6号よりも内陸に整備されたことにより、津波や越波による通行止めリスクの解消にもつながりました。



←台風13号により久之浜町田之網地内の国道が被災

（昭和47年8月、いわき市提供）

昭和47年(1972年)は、7月・8月・9月・10月と連続して4度、台風による被害を受けました。

久之浜バイパス略年表

年度	西暦	事項
平成7	1995	久之浜町久之浜～久之浜町金ヶ沢間、着工。
平成10	1998	久之浜町久之浜～久之浜町金ヶ沢間、開通。
平成20	2008	四倉町～久之浜町久之浜間、着工。
平成28	2016	四倉町～久之浜町久之浜間の開通により、久之浜バイパス、全線開通となる。
平成29	2017	久之浜バイパスに並行する区間（旧一般国道6号）が、福島県へ移管され、「一般県道四倉久之浜線」となる。



国道6号久之浜バイパス工事

（平成9年2月、いわき市提供）



国道6号久之浜バイパス久之浜町久之浜～久之浜町金ヶ沢間開通

（平成11年3月、いわき市提供）



久之浜町田之網字江之網の国道6号と同バイパス建設を北側から見る

（平成23年3月、いわき市提供）



国道6号久之浜バイパス開通式後の走り初め

（平成29年2月、いわき市提供）

参考文献

- | | | | |
|-----------------------------------|--------------------------|------|-------------------------|
| ・『磐城国道30年史』 | 磐城国道30年史編集委員会//編 | 1979 | K/514/イ |
| ・『磐城国道四十周年記念写真集』 | 磐城国道//編 | 1989 | K/514/イ |
| ・『磐城国道五十年史』 | 東北地方建設局//編 | 2006 | K/514/イ |
| ・『語り継ぐ道づくり
東北の直轄国道改修史 国道6号・7号』 | 東北の直轄国道史編纂委員会//編 | 2003 | K/514/ト |
| ・『福島県土木史』 | 福島県土木部//監修 | 1990 | K/510/フ |
| ・『いわき市史 第3巻 近代Ⅰ』 | いわき市史編さん委員会//編 | 1993 | K/210.1-1/イ |
| ・『いわき市史 第4巻 近代Ⅱ』 | いわき市史編さん委員会//編 | 1994 | K/210.1-1/イ |
| ・『日本の道路がわかる事典』 | 浅井 建爾//著 | 2015 | 685.2/ア |
| ・『道路交通政策史概観 論述編』 | 道路交通問題研究会//編 | 2002 | 685.1/ト [*] -1 |
| ・『道路交通政策史概観 資料編』 | 道路交通問題研究会//編 | 2002 | 685.1/ト [*] -2 |
| ・『平市街における空襲と戦災復興都市計画』 | おやけ こういち//著 | 2016 | K/210.7-1/オ |
| ・『いわき市勿来地区地域史 3 上巻』 | いわき市勿来地区地域史
編さん委員会//編 | 2014 | K/210.1-1/
イ-3-1 |

○ 資料提供 ○ 敬称略

国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所
いわき市総合政策部ふるさと発信課

令和2年(2020年)11月18日 発行

■編集・発行 いわき市立いわき総合図書館



令和2年度 後期常設展 「国道6号といわき」

■会期 令和2年(2020年)11月5日(木)ー令和3年(2021年)5月30日(日)

■会場 いわき総合図書館 5階 地域資料展示コーナー